

令和2年度

中学校ブロックジョイントプラン

— 小中一貫教育推進計画 —

【小中一貫教育校(施設分離型)】

- 宇治中学校ブロック (菟道小・菟道第二小)
- 北宇治中学校ブロック (小倉小・北小倉小)
- 榎島中学校ブロック (榎島小・北榎島小)
- 西小倉中学校ブロック (西小倉小・南小倉小)
- 西宇治中学校ブロック (神明小・伊勢田小)
- 南宇治中学校ブロック (西大久保小・平盛小)
- 広野中学校ブロック (大久保小・大開小)
- 東宇治中学校ブロック (三室戸小・南部小・岡屋小)
- 木幡中学校ブロック (木幡小・御蔵山小・笠取小・笠取第二小)

【小中一貫校(施設一体型)】

- 黄檗中学校ブロック (宇治小)

目次

○宇治中学校ブロック（菟道小・菟道第二小）	… 1
○北宇治中学校ブロック（小倉小・北小倉小）	… 3
○榎島中学校ブロック（榎島小・北榎島小）	… 6
○西小倉中学校ブロック（西小倉小・南小倉小）	… 9
○西宇治中学校ブロック（神明小・伊勢田小）	… 11
○南宇治中学校ブロック（西大久保・平盛小）	… 14
○広野中学校ブロック（大久保小・大開小）	… 16
○東宇治中学校ブロック（三室戸小・南部小・岡屋小）	… 19
○木幡中学校ブロック（木幡小・御蔵山小・笠取小・笠取第二小）	… 21
○黄檗中学校ブロック（宇治小）	… 24

宇治中学校ブロックジョイントプラン
 一令和2年度 小中一貫教育推進計画一

宇治市立宇治中学校 校長 田中 康
 宇治市立菟道小学校 校長 海老瀬 正純
 宇治市立菟道第二小学校 校長 井上 浩

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標
 ふるさと宇治を愛し、みらいを展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざす児童生徒像
 ア ともに学び、考える児童生徒
 イ たくましく生きる児童生徒
 ウ 笑顔を大切にする児童生徒

2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

【成果】

- ・組織の再編により、児童生徒の質の高い学力の向上（国語力）に向け、各教科部会において、授業研究会を実施し、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を進めることができた。
- ・菟道小学校での同和問題に係る直接学習（社会科）では、多くの教員が参観することができ、同和問題への理解を深めることができた。
 養護教員部会では、より深い交流をすることで、児童生徒への効果的な支援を行うことができた。
- ・小学6年生の保護者に対して中学校教員より「中学校入学にあたって」の話聞く機会を設けることができ、中学入学に向けての不安解消につながった。

【課題】

- ・児童生徒の国語力の向上について、国語科だけでなく、他の教科においてどのように国語力を付けていけばよいかについてより共通理解を図る必要がある。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

【目標】

- ・児童生徒の国語力の向上に向けて、国語科だけでなく、他の教科においてどのように国語力をつけていけばよいかについて共通理解を図る。

【推進の概要】

- ・各教科における宇治中ブロックの共通する課題を明確にし、「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を指導方法や評価に焦点化し、授業研究を進めていく。

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組
 (1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
・授業づくり部において、授業改善を小・中学校教員が協働して進める。	・9つの教科部会において、やましろ授業スタンダードを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を進める。 ・各校児童生徒の様子との交流については、必要に応じてコーディネーター間で調整し、実施する。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
・交流活動の実施	・クラブフェスティバル、駅伝合同練習、鼓隊クラブ・吹奏楽部合同練習の内容を精査しながら、各校コーディネーター間で調整し、実施していく。

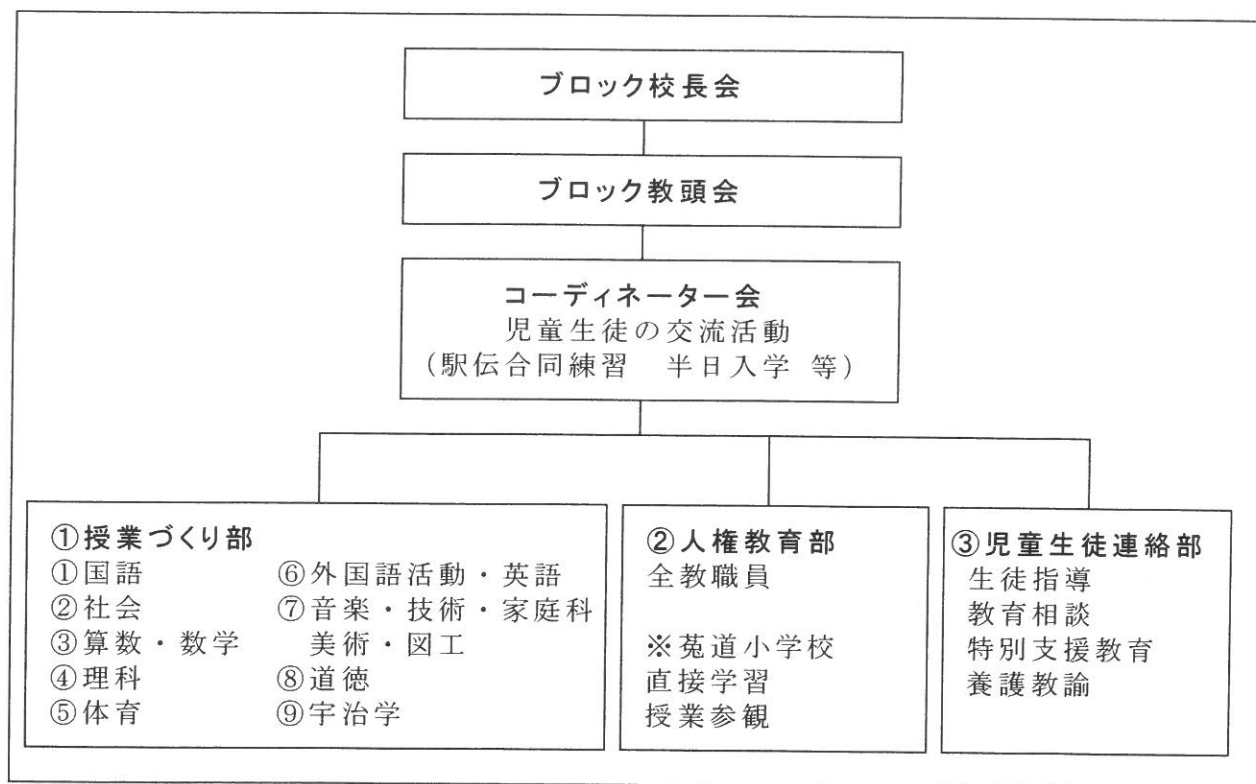
(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
・小中一貫の取組の紹介と児童・保護者にたいして講座、講話を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校だより（F U T T）や学校だより、ホームページ等を積極的に活用。 ・中学校教員が小学校に出向き、6年生保護者に対して「中学校準備講座」を開催したり、6年生児童に対して、中学校の「定期テスト」に対してどのように学習すればよいかを話をしたりする機会を設ける。 ・中学校の学校だよりを6年生全員に配付し、中学校の様子をよく知ってもらうとともに、各小学校の学校だよりを中学校の掲示板に掲示する。

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
・ブロック校長会の指導のもと、教頭とコーディネーターを要とした推進体制の充実を図る。	・各校の校長、教頭、コーディネーターがそれぞれの教科部に属し、授業改善について助言する等、児童・生徒にとってより効果的な授業改善を進めることができるよう進行管理を行う。

(5) 宇治中学校ブロック組織図



(6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・・・ラーニングコーディネーター)

SC・・・宇治市立宇治中学校 岩井 佳慧
 SC・・・宇治市立菟道小学校 塚原 尚子
 LC・・・宇治市立菟道第二小学校 白井 一範

北宇治中学校ブロックジョイントプラン
 ー令和2年度 小中一貫教育推進計画ー

宇治市立北宇治中学校 校長 吉田 英司
 宇治市立小倉小学校 校長 安田 善一
 宇治市立北小倉小学校 校長 中野 正彦

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

教育目標「学力の向上を目指し、多角的に小中の連携を進める」
 (めざす子ども像)

- ・ 自ら考え、自発的に表現できる子 (知)
- ・ 人と地域とのつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子 (徳)
- ・ 運動に親しむことにより、楽しく生活できる子 (体)

2 令和元年度取組の成果と課題 (「取組内容」「子どもの態様」など)

【成果】

- ・適切な時期に企画会議を設定するとともに、年度当初に各校顧問と各係会代表者との打ち合わせを設定し、学力面を中心に、継続的・発展的な取組を行うことができた。
- ・「家庭学習の手引き」の活用や「小中一貫教育だより」等を定期的に発行し、一定、小中一貫教育の取組の保護者や地域への周知が図れた。

【課題】

- ・保護者や地域に小中一貫教育の取組のさらなる周知徹底を図るとともに、小中連携のもとブロックとして、学力向上の成果につなげていく必要がある。
- ・学力部係会等、学力向上に向けて組織体制の更なる見直しや検討を図っていく必要がある。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性 (核となる取組)

【目標】

- (1) 小中学校の教員が連携して学力の向上を図る。
 小中一貫の視点から、日々の授業技術の向上や学力定着のための具体的方策を探り実践していく。
- (2) 各部・係会を中心に、小中一貫教育を推進する組織力を向上させる。
- (3) 保護者や地域住民などに、積極的に小中一貫教育の取組や成果等を発信していく。

【推進の概要】

- (1) 小中一貫教育に向けた企画会議の定期的な開催や年度当初の各顧問と担当者会の実施、計画した取組を確実にを行うことを通じて、小中学校の教員の連携とこれによるブロックとしての学力の向上を図る。
- (2) 小中一貫教育推進のための組織として以下の部・係会を置く
 - ① 学力部各係会 (年間を通して日常的に行う活動) … 全員が所属
 - ② 授業部 (合同授業研等、シーズンの活動) … 全員が所属し全教科で授業を実施するとともに、9年間の指導を見通し、小中合同で指導案を作成する。(※合同授業研のみ)
- (3) 「小中一貫教育だより」等の通信を学期1回程度定期的に発行し、また学校 HP 掲載等を通じて保護者や地域住民などに、小中一貫教育の取組や成果等をさらに周知徹底していく。

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組
 (1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
・ 9年間を見通した学習指導のあり方を研	① 学力部係会 (年間を通して日常的な活動) … 全員が所属 【学力分析・家庭学習係】

究する。

- ・個人や学力層の経年変化にも踏み込み、学力実態における課題等を明らかにする。【分析テストの不実施より中止】
- ・各校の研究推進部や他の係会との連携や指示をしながら、学力充実の取組の提案や家庭学習のあり方を研究する。
- 【授業改善係】
- ・各校の研究推進部や学力分析係と連携して学力向上のための具体的な授業改善策や児童・生徒の効果的な学習方法を提案するとともに、「読解力の向上」等の取組の交流・研究を行う。
- ・合同授業研における3校共通の研究テーマを検討・提案する。（※本年度は合同授業研を小倉小「食育」の発表と兼ねるため未実施）
- 【道徳係】
- ・道徳の教科化にともない円滑な推進や評価のあり方などで連携を図るとともに、教材の開発や交流を行う。
- 【外国語（英語）係】
- ・小学校における外国語（英語）教育の設置に伴い、有効な学習方法等を提案する。
- ・小中における外国語（英語）教育の円滑な連携を図る。
- 【特支・教相係】
- ・特支・教相対象児童、生徒に対する有効な方策やアプローチ方法を示していく。
- ・小中それぞれの児童、生徒の実態交流をより細かく行い、連携を図っていく。
- 【児童・生徒支援係】
- ・生指面の課題を持った児童・生徒や不登校児童・生徒に対する有効な方策やアプローチ方法を示していく。
- ・小中それぞれの児童、生徒の実態交流をより細かく行い、連携を図っていく。
- ②授業部（シーズ的な活動）…全員が所属し原則全教科で研究授業を実施するとともに、9年間の指導を見通し小中合同で指導案を作成する。

（2）中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
①小中合同授業研究	・合同授業研究に向け小・中学校教員が協働し、指導案を作成する。小中一貫教育の視点を持って指導方法や教材研究等の交流を行う。（※合同授業研究会は小倉小学校「食育」の発表と兼ねるため、本年度は合同授業研のみ実施予定）
②学力の実態把握と分析	・京都府学力診断テスト、全国学力・学習状況調査等の結果を活用し、学力実態の分析を学力向上に生かす。
③カリキュラム作成における連携	・各校の「いしずえ学習」の取組を交流し児童生徒の基礎基本の確実な習得・定着を図る。
④児童・生徒の交流	・9年間を見通した年間指導計画を活用し、系統的継続的学習指導の充実を図る。（カリキュラムの交流及び検討）
	・学校行事や対外行事、地域ボランティア活動、児童会・生徒会活動や交流を通して、小小連携、小中連携をすすめる。
	・小学6年生を対象にした半日入学の取組を実施する。

（3）家庭や地域との連携

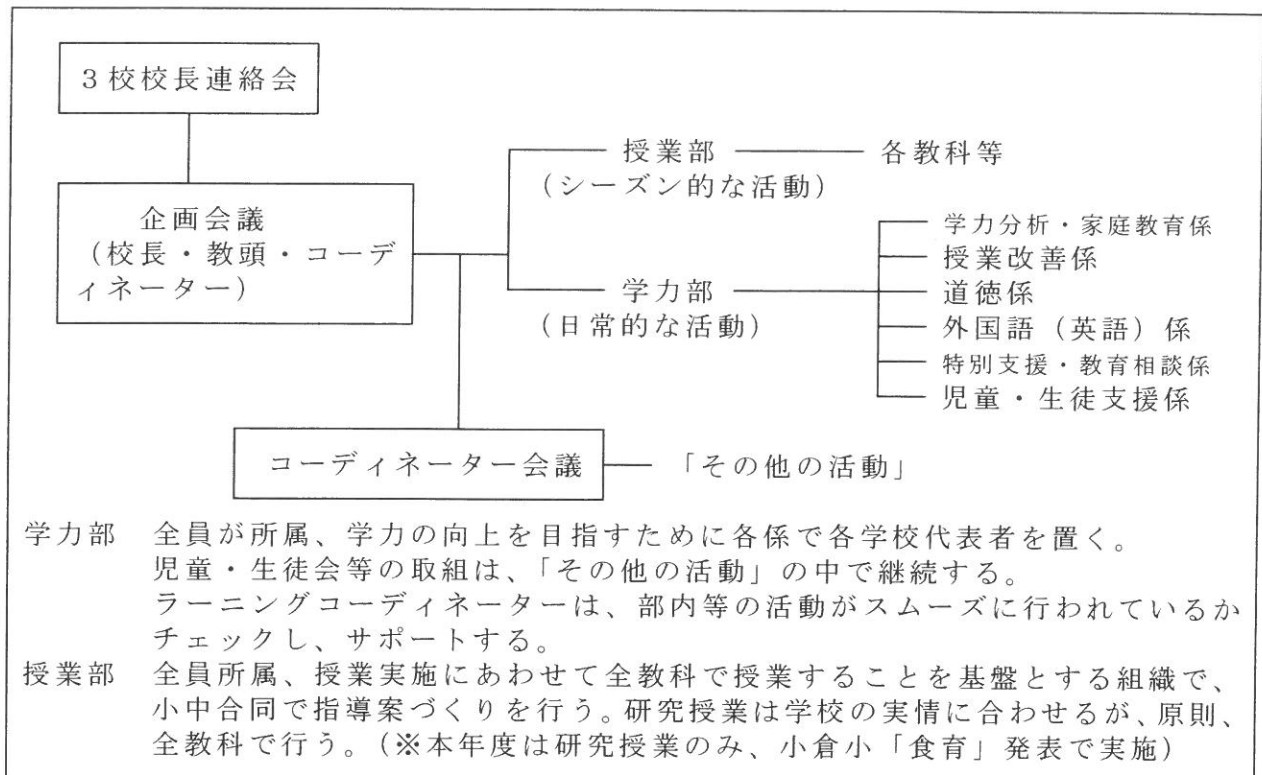
取組概要	詳細
①小中一貫教育ニュースの発行	・保護者向け小中一貫教育ニュースを学期に1回程度発行し、活動内容を保護者・地域に紹介していく。
	・他の広報紙発行や学校HPの活用等を行い、ブロック内の

②家庭学習の取組	<p>小中一貫教育の取組の情報発信を適切に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」を活用し、保護者の協力を得つつ、家庭学習の時間を定着させることで学力の向上を図る。 ・「家庭学習の手引き」を学校 HP 上に掲載し、さらに家庭との連携を図っていく。
----------	---

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
①機能的な組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター会議を必要に応じて開き、調整する。 ・企画会議を中心に原案を練り、それに基づいて各係が教職員の具体的な動きをつくり、小中一貫教育を推進する。 ・各係会における「顧問」の設置（各小中学校校長・教頭が担当） <ul style="list-style-type: none"> ☆学力分析係…安田校長（小倉小） ☆授業改善係…坂教頭（小倉小） ☆道徳係…吉田校長（北宇治中） ☆外国語（英語）係…服部教頭（北宇治中） ☆特支・教相係…姫野教頭（北小倉小） ☆児童・生徒支援係…中野校長（北小倉小） ・各係会は各自がいずれかの係会に所属する。（各校の管理職が顧問として各係会に所属） ・授業部会は各自がいずれかの教科に所属する。研究授業は学校の実情に合わせるが、原則全教科で実施する。 ・各部、係会で各校1名の代表者を決め、代表者が各顧問の助言を受けながら中心となって部会運営を行う。

(5) 北宇治中学校ブロック組織図



(6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・ラーニングコーディネーター)

LC・・・宇治市立北宇治中学校 有山 明利

SC・・・宇治市立小倉小学校 樋口 徹 宇治市立北小倉小学校 岡田 晃輔

榎島中学校ブロックジョイントプラン

- 令和2年度 小中一貫教育推進計画 -

宇治市立榎島中学校 校長 不破 真紀

宇治市立榎島小学校 校長 福地 裕之

宇治市立北榎島小学校 校長 信太 義光

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

小中一貫教育目標 めざす子ども像	「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」 心身共に健康で、明るく活動する子 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子 地域でつながり、共に支え合い、高め合う子
---------------------	--

2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

【成果】

- ・各部会で学力分析や分析から見えた課題について解決するための方策を検討し、授業改善や宿題の活用について議論を深めることができた。また、北榎島小学校での道徳研究についての成果について部会を通じて交流し、具体的な内容で小小連携・小中連携を推進することができた。
- ・中学校が主体として取り組んだ古着回収の取組を、2小学校の児童会がブロック内でも連携・協働して取り組み、児童生徒交流を深めることができた。
- ・小学校6年生が、中学進学への不安を解消し、中学校生活への見通しを持つための体験入学や、榎島中学校の2年生が、小学校で体験する職場体験など、様々な活動を通して、児童生徒の交流ができた。
- ・小中学生の主張交流会やあいさつ運動を行ったり、中学校の学校便りを小学6年生や教職員に配付した。
- ・昨年度も、「榎島中学校ブロックPTA・育友会合同本部役員会」を実施し、小中一貫教育の目的や意義を広めることに加え、連携の意識を高めることができた。
- ・地域の夏祭りや餅つき・クリーン活動、左義長、中学校文化祭、小中学生の主張交流会、児童会生徒会によるあいさつ運動など様々な取組で、児童生徒が交流する機会を公開することができた。
- ・絵画巡回展を、ブロック内3校に加え、榎島コミュニティーセンターでも一定期間展示を行い、作品を通じた交流および地域へ活動を示すことができた。
- ・榎島中学校ブロックの授業スタンダード作りを目指し、学力分析をふまえた児童生徒の授業意欲を向上させるための授業作りに向けた研究を進めた。また、「夢・未来」会議だけでなく、榎島中学校ブロック校長会、コーディネーター会議を定期的に行い、ブロック内の課題の交流や取組の方向性を検討できた。
- ・今年度は組織改編を行い、部会を新たに設定し、「学力向上」を目指した授業作りに特化した組織にすることで、組織のスリム化を図ることができた。

【課題】

- ・小中の枠を越えて、授業作りを行い、小中合同の授業研究会を実施できるよう、小中合同研修会の内容をさらに調整していく必要がある。
- ・地理的な問題、分散進学の問題により、小・中学生の主張交流会など、北榎島小学校の児童しか参加できないことが課題である。
- ・児童生徒の姿や交流場面を示すことを積極的に進め、小中一貫教育についての保護者・地域の理解を深め、外部にさらに発信していく。
- ・教職員広報を発行することができず、合同研修会の内容をふり返る機会を持つことができなかった。
- ・それぞれの部会で何を、どのように、ということが具体的に示すことができず、情報交流で終わってしまったので、次年度は授業研究会を行い、部会の垣根を越えて学力について研究を進める機会を設ける。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

<p>【目標】 「横島中ブロックとして、ふり返りを意識した授業を展開し、基礎・基本の定着に向けた取組を進める」</p> <p>【推進の概要】 中学校ブロックの授業作りのテーマを「ふり返り活動の充実」「基礎・基本の定着」と設定し、ふり返りを通して、主体的に学びに向かう力を向上させ、基礎・基本を定着させるための授業改善および家庭学習の充実に向けた研究・研修を進めていく。</p>
--

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組 （1）系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
○ 横島授業スタンダード	・ 授業作り部会を中心に山城授業スタンダードを基本としながら、ブロックで共通して取り組むことができる授業スタイルを作成し、実践する。
○ アクションプラン推進	・ 国語部会を中心に、「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を推進していく。
○ 小中連携（英語）	・ 小中の接続をスムーズに行えるよう、教科連携教員（外国語）をキーパーソンとした連携や、教科・領域部会を中心とした綿密な連携や研究・研修を推進する。
○ 「特別の教科 道徳」の研究	・ 北横島小学校の「特別の教科 道徳」の研究について教科領域部会を通じて研究成果を広め、小小連携・小中連携を深める。

（2）中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
○ 小学生の中学校体験入学	・ 中学進学への不安を解消し、中学校生活への見通しを持つために、中学校での授業体験と部活動体験を行う。
○ 中学生の職場体験	
○ 小・中学生の主張交流会	・ 横島中学校の「中学生の主張」学年代表と、北横島小学校6年生の「将来の夢」学級代表が発表し、交流する。横島小学校の6年生は、その様子を映像で鑑賞する。
○ 絵画巡回展	・ 中学校ブロックの児童生徒の代表絵画作品を3校および地域にも巡回展示する。

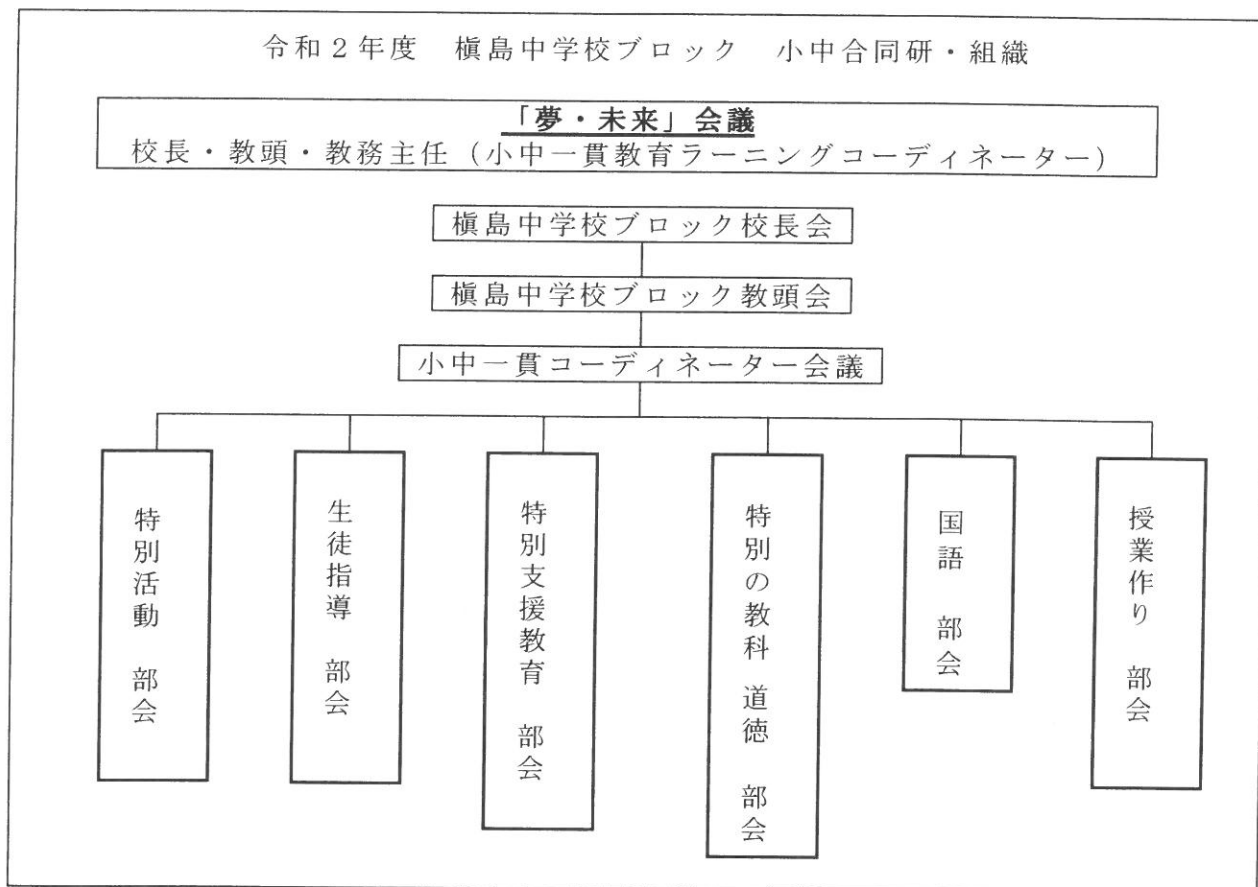
（3）家庭や地域との連携

取組概要	詳細
○ 情報発信	・ 小中一貫教育便り「マキシマム」の継続発行（保護者配布・地域回覧）やHPへの掲載、各校の広報誌での小中一貫教育目標やめざす子ども像、取組等の広報や校内掲示等を行い、小中一貫教育に向けた取組や研究を積極的に情報発信する。
○ 地域との連携	
○ 横島中学校ブロックPTA・育友会の交流	・ 昨年度に引き続き、横島中学校ブロックPTA・育友会役員合同研修会を実施し、地域や保護者との連携の意識を高めていく。

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
○小中一貫教育研究	・「夢・未来」会議を推進の要とした組織体制の中で、小中一貫教育の取組や各部の研究実践を推進する。そのため、横島中学校ブロック校長会、教頭会、コーディネーター会議を定期的に行い、連携をより強化する。
○教職員広報の発行	・教職員広報を発行し、小中一貫教育推進に関わる情報を発信し、小中学校の教職員の共通理解を図りながら、取組を推進する。

(5) 横島中学校ブロック組織図



- (6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・・ラーニングコーディネーター)
- LC・・宇治市立横島中学校 関 和也
- SC・・宇治市立横島小学校 小西 由佳
- 宇治市立北横島小学校 青野 裕平

西小倉中学校ブロックジョイントプラン
 令和2年度 小中一貫教育推進計画

宇治市立西小倉中学校 校長 平岡 順一
 宇治市立西小倉小学校 校長 渡邊 和孝
 宇治市立南小倉小学校 校長 安田 哲朗

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の 豊かな心と 確かな学力を育む

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

【成果】

- ・夏季合同研修会では、C層D層の学習意欲向上という3校共通の課題に迫るために、京都教育大学の村上教授を招いて、「コーチング」について研修を行い、子どもの見方や接し方という教員の基礎基本といえる教育技術を学び合えた。
- ・同じ研修を3校の教員が受けることで共通の教育理論を持って話げできた。教員自身の自己分析、児童生徒分析、小集団の作り方など新しい視点で考えることができた。
- ・ラーニングコーディネーターが南小倉小・西小倉小の6年生に「全国学力調査国語準備講座」を実施したり、西小倉中学校の職員会議で、小学校の全国学力調査の結果とC層D層へどんな学習指導をしているかという報告を行ったりするなど、3校の児童生徒、教員に学力向上に向けて働きかけたり、児童生徒の学力実態や生徒指導上の問題などの情報を共有したりすることができた。

【課題】

- ・目指す児童、生徒像をもっと具体化・焦点化し、学力とともに道徳の重点項目、生徒指導面でも交流していく必要がある。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

【目標】
 目指す児童、生徒像をもっと具体化・焦点化するために、学力とともに生徒指導面（とくに登校しぶりや不登校児童、生徒への対応）でも交流していく。

【推進の概要】

- ①教員の研究・研修を充実させるための取組
- ②家庭学習充実の取組とその発信
- ③各校の校務分掌を生かした協力体制

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組
 (1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・いしずえ学習 ・定期テスト講座 ・生徒指導交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いしずえ学習」を活用し、基礎基本の徹底や「自主学習」「振り返り学習」を行う。 ・中学校の定期テストへの不安軽減を図るため、両小学校6年生が、中学校の定期テストの形式に合わせたテストを実施する。 ・学期に一度、各校の生徒指導部長による事象報告や実態や指導内容の共有化を図る。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・教科連携加配 ・外国語専科教員 ・小小連携加配 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科連携加配(理科・図工・体育)、外国語専科教員による指導。 ・小学校高学年における教科担任制授業(音楽)を推進する。

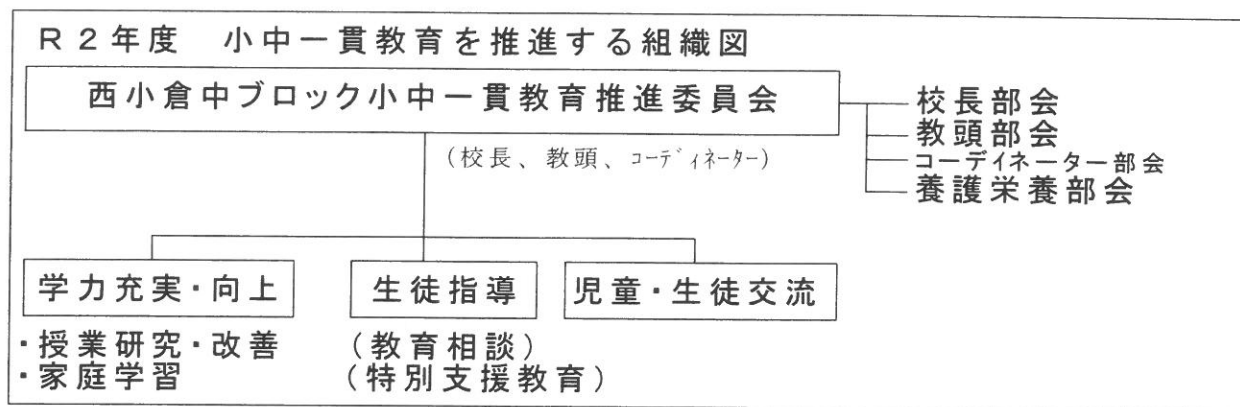
(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引き ・家庭学習アンケート ・地域、保護者への啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」を配付し、中学校ブロックで共通して取り組んでいる家庭での学習の仕方を学校、保護者で共有する。 ・家庭学習の充実に繋がる意識アンケートを実施する。 ・様々な取組を「小中一貫だより」のプリント配付やHP等で発信する。

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター会議 ・中学校ブロック推進会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度のコーディネーター会議で合同研究会の計画や各部の活動状況を把握する。 ・月1回の推進会議に、連携加配教員も参加し、3校の児童生徒の実態を全員で把握し、必要な取組を協議する。また、各校教員に伝えていく。

(5) 西小倉中学校ブロック組織図

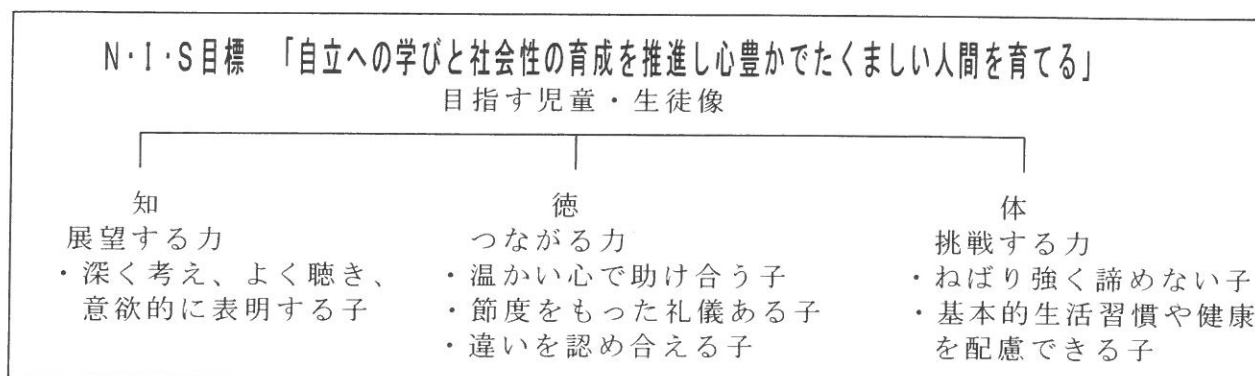


- (6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・ラーニングコーディネーター)
- | | | |
|-----|------------|-------|
| LC・ | 宇治市立南小倉小学校 | 丸尾 章弘 |
| SC・ | 宇治市立西小倉中学校 | 村雲 賢也 |
| | 宇治市立西小倉小学校 | 立木 剛 |

西宇治中学校ブロックジョイントプラン
 ー令和2年度 小中一貫教育推進計画ー

宇治市立西宇治中学校校長 中井 良幸
 宇治市立伊勢田小学校校長 岸 久也
 宇治市立神明小学校校長 辻 弘一

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像



2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

【成果】
 ・3校交流の意義がより浸透し、各部・全体とも年度当初の協働計画を積極的に進めることができた。
 ・行事や取組について、個々の運営体制を見直し実践面の整理を進めることで、持続可能な取組体制を整え、協働への理解を得ることができた。

【課題】
 ・小中の共有や協働が進んだことで、「学力充実」を中心とする「9年間を通して向き合うべき課題」が各部ごとにも見えてきた。そのため本年度は、見通しを持った綿密な計画が必要であると考えられる。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

【目標】 「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

【推進の概要】

- (1) 「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に基づいた合同研修会及び新学習指導要領実施のための各教科部会の充実と発展、公開授業研究会の実施
- (2) 領域部会機能の活性化
- (3) 小小連携の充実（中学校進学に向け、共通組織による実態改善）
- (4) 相互連携授業の充実

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての具体的取組

(1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
① 合同研修会	① 第3回西宇治中学校ブロック小中一貫教育合同研修会（10月）の公開授業（会場：西宇治中学校）に向け、3校共同の研修会を持ち、新学習指導要領の三観点を踏まえた各教科の学習指導案作成及び指導方法等について研修を行う。学習指導案作成の際には、「学力充実の視点」の項目を迫

②資料・データの整理	加し、より学力向上を意識した授業作りを進める。
③宇治学	②小中学校9年間に及ぶ児童生徒の教育活動に見通しを持った学習指導の方法を研修するとともに、その成果を共有し協働に活かすことができるよう、資料・データの整理（＝「見える化」）に努める。
④学習の手引き	③副読本の活用について十分検討し、持続的・継続的、さらに現実的な計画を立てる。 ④小中学校共、各学年における最初の授業や適切な機会を捉えた「学習の手引き」活用で、「学習の仕方指導」を実施するとともに、学習指導面における小中連携・協働を進める。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
①部活動を生かした交流	①小学校児童への中学生の「部活動を生かした交流」（駅伝合同練習）実施など、相互の理解と交流を深める取組を積極的に実践する。
②小6中学校体験入学	②児童の小中格差に関わる不安を取り払い、スムーズに中学校生活へ移行できるよう支援する。
③朝の挨拶運動	③毎学期小中学校共同で取り組み、児童会・生徒会相互の交流を深める。
④打ち合わせの活性化	④各取組の担当者は、相互に取組の意義や実践に関する詳細について打ち合わせを行うことで取組の形骸化を避け、有効な取組としての維持継続を図る。

(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
①広報紙発行（小中学校保護者、及び地域へ配布）	①広報紙発行（小中学校保護者、及び地域へ配布）の取組を継続するとともに、小中一貫教育啓発掲示板の有効活用、各校学校だより（小5・小6・中1対象分）のブロック内交流、各校HP上を工夫し、広く地域に発信し理解と支援を求める。
②各地域行事への呼びかけや参加	②各地域行事（夏祭りや左義長など）、夏休みの「地域パトロール」、西宇治オープンフェスタ、中学校オープンスクール等々への積極的な参加を通して、地域との連携を図り支援や協働を得る。

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
①会議の設定	①ブロック校長会をはじめ各会議を適宜開催し内容の充実を図るとともに、推進計画が円滑に遂行されるよう、各会及び各部との交流、連携に努める。（特に、実務に直結するコーディネーター会議は月例開催を目処とし、全体の調整と活性化にあたる。）
②協働体制の構築	②小中連携の諸行事における準備の手順や役割担当等を明確にし、協働体制を構築する。

(5) 西宇治中学校ブロック組織図

組織項目	役職名	氏名	職務	学校名	
推進会議	ブロック校長会	中井 良幸	校長	西宇治中学校	
		岸 久也	校長	伊勢田小学校	
		辻 弘一	校長	神明小学校	
	コーディネーター会議	学力充実部担当	大石 充士	教務主任 兼 コーディネーター	西宇治中学校
		生徒指導部担当	玉井 耕平	教務主任 兼 コーディネーター	伊勢田小学校
		特別支援・教育相談部担当	千々岩香織	教務主任 兼 ラーニングコーディネーター	神明小学校
	ブロック会議	学力充実部担当	大川 透	教頭	西宇治中学校
		生徒指導部担当	山根 徳子	教頭	伊勢田小学校
		特別支援・教育相談部担当	上口 俊幸	教頭	神明小学校
3部会	学力充実部 (各校学力担当)	(部長) 前田 彩絵	西宇治中学校		
		橋爪 一喜	伊勢田小学校		
		大野 淳之	神明小学校		
	生徒指導部 (各校生徒指導担当)	北村 眞也	西宇治中学校		
		(部長) 池本 裕貴	伊勢田小学校		
		井ノ口 淳史	神明小学校		
	特別支援・教育相談部 会 (各校特支・教相担当)	特支：町田 弘法 教相：齊藤 智美	西宇治中学校		
		特支：小松ちとせ 教相：甲斐 恵	伊勢田小学校		
		(部長) 特支：阿部ちひろ 教相：赤坂 清志	神明小学校		

(6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・・・ラーニングコーディネーター)
 LC・・・宇治市立神明小学校 千々岩 香織
 SC・・・宇治市立伊勢田小学校 玉井 耕平 宇治市立西宇治中学校 大石 充士

南宇治中学校ブロックジョイントプラン
ー令和2年度 小中一貫教育推進計画ー

宇治市立南宇治中学校
宇治市立西大久保小学校
宇治市立平盛小学校

校長 村上 善輝
校長 河野 收
校長 浦田 雅彦

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

- ブロック小中一貫教育目標
「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」
- めざす子ども像
「夢や希望を持った、未来をたくましく生きぬく子ども」

2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

【成果】

- ・児童生徒に身に付けさせたい力を明確にし、授業で話し合い活動を取り入れる機会を増やした。
- ・新入生対象の「春休みの課題」を中学校までに身に付けていてほしいものへと精選した。
- ・小中を通して身に付けたい習慣「あいさつ・靴を並べる・傘のバンドを締める」が行えるようになった。
- ・小学6年生の入学説明会・授業体験・部活動体験を同日に行った。半日体験をすることで、児童が中学校生活に対するイメージを持つことができた。
- ・夏の小中合同研修会では「知ることにつながる人と人」について講師を迎えて研修を行った。校区の特徴や人権に関して全体で学習し、意識付けするよい機会となった。
- ・部会の編成を工夫し「学力向上」に対する取組や交流などを行えた。
- ・小中一貫教育の取組を教職員全員で行っていくという意識の向上につながった。
- ・教科連携加配教員は、小中一貫教育推進の要として活躍した。中学校の授業体験で、英語を行ったこともその一つに挙げられる。

【課題】

- ・小中で共有の学力分析ができていない。
- ・授業の中での導入・展開・まとめ・振り返りの徹底を行っていききたい。
- ・中学校につながるような小学校の授業を展開していく。また、中学校は、小学校の授業で大切にされてきたことを継承・発展させる必要がある。
- ・授業規律としてもメリハリ（書くときは書く、聞くときは聞くなど）を意識していきたい。
- ・各校の取組交流はできたが、日常的な児童・生徒の交流を引き続き考えていく。
- ・計画段階から質の向上を図れるよう、各部長を中心に考えていきたい。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

【目標】

学力向上に向けて、小中の交流を行い、授業や生活についての実践を共有していく。

【推進の概要】

- ・授業実践について、導入・展開・まとめ・振り返りなどについて共通理解を図る。
- ・事前事後研修を含む授業研究を行い、小中で共通して取り組める授業実践を見出す。
- ・児童生徒の交流の機会を見出す。

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組
 (1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
学力分析 授業改善 授業規律	<ul style="list-style-type: none"> ・学力分析結果等から、具体的改善目標を精選し、設定した目標に向けて取組を検討する。 ・事前事後研修を含む授業研究を行い、小中で共通して取り組める授業実践を見出す。 ・授業規律の共有と家庭学習の取組を進める。 ・各校の状況を踏まえ、学校生活のきまりや、よりよい児童生徒の姿を小中で共有する。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
帰国生徒理解学習 生徒会・児童会による取組 中学校授業・部活動体験	<ul style="list-style-type: none"> ・両小学校で帰国外国人児童生徒理解学習を実施し、中国武術体験などを通して三校共通のグローバルな感覚を養う。 ・生徒会・児童会での取組を実施し、ボランティア活動や挨拶運動などを継続させる。 ・中学校での体験を行い、中学校進学への見通しを持たせる。

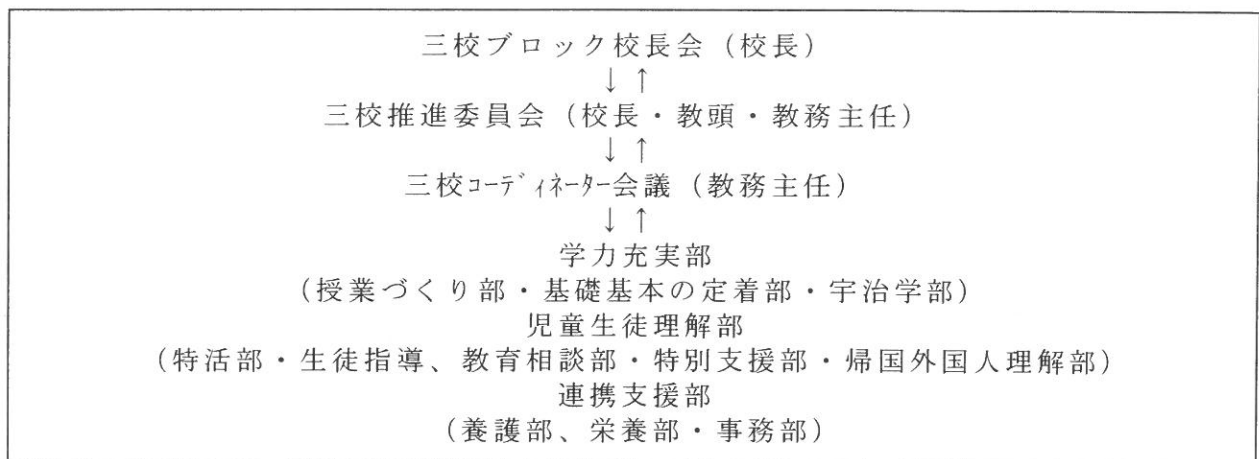
(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
小中一貫教育だより 家庭学習の手引き 学校だより	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育だよりを保護者へ配布する。 ・家庭学習の手引きを配布し、家庭学習の大切さを示し、保護者とともに学力充実を目指す。 ・地域に学校だよりを配布し、実践の紹介や地域の課題を共有する。

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
推進委員会 授業連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック校長会を踏まえ、推進委員会やコーディネーター会を実施し、小中の取組が充実できるよう計画する。 ・教科連携教員の効果的な活用方法を検討する。 ・LCが定期的な小学校訪問を行う。

(5) 南宇治中学校ブロック組織図



(6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・ラーニングコーディネーター)

LC・宇治市立南宇治中学校 大村 優
 SC・宇治市立西大久保小学校 瓜生 貴士 宇治市立平盛小学校 吉田 晴美

令和2年度 広野中学校ブロック ジョイントプラン
 - 小中一貫教育推進計画 -

宇治市立	広野	中学校	校長	秋元	恒志
宇治市立	大久保	小学校	校長	島田	尚明
宇治市立	大開	小学校	校長	永井	久敬

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

<教育目標>
 夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成

<9年間で育てたい力（めざす児童生徒像）>
 自ら学び考える力 豊かな人間関係を築ける力
 健やかな体で粘り強くやり抜く力 自分の生き方を求めていく力

2 令和元年度の成果と課題

<成果>

- ・児童会、生徒会を中心に多彩な取組を進めることができた。
- ・小中一貫教育を支える小小連携に力を入れ取組を進めることができた。
- ・学園の学力課題を焦点化した小小共通問題を作成し、授業の中で活用することができた。
- ・広野中学校生徒と小学生が具体的な中学校の生活や学習の仕方について話し、感じたことを小学校生活に生かす活動を通して、中学校に向けての不安を軽減することができた。
- ・3校合同での地域懇談会や、各校での学校評議員会議を開催するなど、学校、家庭、地域で連携・協力しながら小中一貫教育を進めることができた。
- ・3校の行事予定表やHOOP（宇治ひろの学園小中一貫だより）を作成して家庭や地域に配付し、小中一貫教育について積極的に情報発信することができた。
- ・「学びの意欲を高める」ための3校協働研究においてアンケートを実施した。その結果を分析し、次年度以降の取り組み内容の検討につなげた。

<課題>

- ・各校の教職員の交流や共同研究を充実させ、教職員の意識や日常的な取組を定着させる。
- ・学園全体の学力向上を目指し、学力充実に焦点化した取組をさらに推進する。
- ・家庭、地域に対して「目に見える取組」をさらに展開していく。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

【目標】
 「学習意欲」を切り口に学校教育の「児童生徒の学力向上（確かな学力）」への具体的なアプローチを考え、実践する

【推進の概要】

◎ 「学びの意欲を高める」ための3校協働研究

- ・宇治ひろの学園の子どもたちの「学びの実態」についての調査分析と実態把握から「学習意欲」を切り口に学校教育の「児童生徒の学力向上（確かな学力）」への具体的なアプローチを学年ごとに考える。
- ・学年ごとに検討した実践内容をブロックで交流・協議し、さらに具体的な実践方法の構築につなげ、実践していく。
- ・協働研究者（京都文教大学 寺田教授）と連携した分析を実施する。

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組

(1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
教職員間の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の定期的な打合せの時間の確保 ・各部会の校種をこえた組織的な活動の実施 ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施(授業研の交流) ・3校での夏季合同研修の実施 ・小6の中学校体験学習への小学校教員の参加 ・中学校教員の小学校体験研修及び小学校教員の中学校体験研修 ・小学校教員の中学校部活動見学 ・生徒指導交流と連携の充実(年間3回:学期1回) ・中学校定期テスト不安軽減の取組

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
9年間の見通しをもった教育活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大久保小と大開小の小小連携の計画及び実施(授業研の交流) ・宇治ひろの学園共通問題(小6算数)の実施 ・よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質 ・能力を育成することを旨とする「宇治学」の充実 ・コーディネーター会議(事務局会議)の定期的な実施(月1回以上) ・児童生徒理解部会、学力部会、児童生徒交流部会の合同研修の計画及び実施 ・中学校ブロック独自の生徒指導カルテの作成・引継 ・HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施(年3回程度) ・福島ひまわりプロジェクトの実施 ・3校児童生徒会合同での取組の充実(あいさつ運動) ・小6の中学校体験学習での小小交流事業 ・中学1年生による2小学校1年生への読み聞かせ(紙芝居)

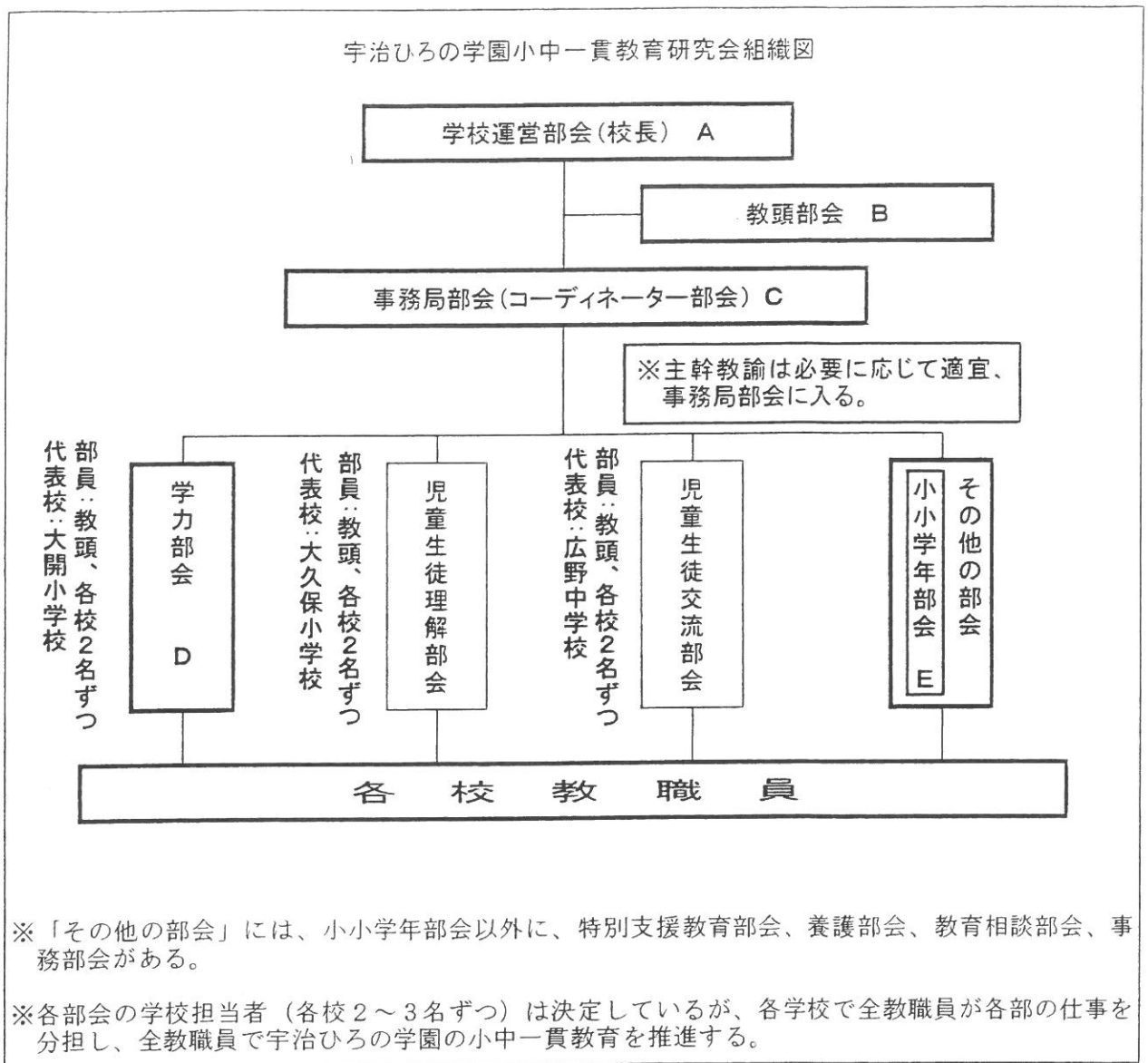
(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
定期的な情報発信と交流の機会充実	<ul style="list-style-type: none"> ・H00P(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者・地域への全戸配付 ・各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用 ・各校での行事を活用した積極的な情報発信 ・3校合同の地域懇談会や学校評議委員会の計画及び実施 ・小6の中学校体験学習の保護者参観

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
計画的な組織運営の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック校長会議(学校運営部会)の実施(月1回以上)及び教頭部会の開催 ・コーディネーター会議(事務局部会)の定期的な実施(月1回以上) ・学園児童生徒の学力充実を目指し、各部会の組織的な活動の実施

(5) 令和2年度小中一貫教育を推進する組織図



(6) 小中一貫教育コーディネーター (SC)

LC	宇治市立広野中学校	清水	智博
SC	宇治市立大久保小学校	横江	孝洋
SC	宇治市立大開小学校	帆足	慶信

東宇治中学校ブロックジョイントプラン —令和2年度 小中一貫教育推進計画—

宇治市立東宇治中学校	校長	岩場	利知
宇治市立岡屋小学校	校長	岸田	和男
宇治市立南部小学校	校長	三上	誠一
宇治市立三室戸小学校	校長	高瀬	直樹

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

教育目標 「命を輝かす人間」	めざす児童・生徒像 「自ら学び学習する児童・生徒」 「思いやりのある児童・生徒」 「たくましく生きる児童・生徒」 「健康や安全を考える児童・生徒」
--------------------------	--

2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ブロック児童・生徒の共通課題である「ことばの力」を高める視点で、授業や指導の充実を図るための小中合同の研究を進めることができた。(合同研究授業・学力充実推進部会) ・各校のアクションプランを中心とした学力充実・向上の取組を交流し、各校の取組に反映させたり、指導のポイントを「東宇治中ブロック授業スタンダード」にまとめて日常の指導に活用できた。 ・学力の基盤となる主体的態度を高める視点で、児童・生徒交流や地域・家庭連携の取組を展開し、その取組を広めるための情報発信を積極的に進めた。(小中一貫教育だより年間3号※HP掲載・教職員広報年間3号) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの指標についてブロックとしての分析を行い、本ブロック児童生徒の課題である「ことばの力」「主体的な学習態度」「対話的な深い学び」と関連させた研究や取組を展開する。その中で「義務教育9年間の系統的・統一的な指導で確かな学力と生きる力を身に付ける」という小中一貫教育の基本を大切に、これまでの成果と課題を踏まえた改善・工夫を図る。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

<p>【目 標】</p> <p>これまでの小中連携・小中一貫教育の成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、小中一貫教育の基本である「義務教育9年間で、生きて働く学力や生きる力を身に付けさせるための系統的・統一的な指導を実現する」という視点で、日々の指導の充実を図りながら、取組の点検・評価・改善を図る。</p> <p>【推進の概要】</p> <p>本ブロックの児童生徒の実態や教育の方向性・動向を踏まえた取組の工夫・改善を積極的に進める。その取組の一つとして、宇治市の「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」の指標について、ブロックとしての分析を行い、本ブロック児童生徒の課題である「ことばの力」「主体的な学習態度」「対話的な深い学び」の充実と関連させた具体的な取組を推進する。</p>

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組

(1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
合同研究授業や相互授業参観を含む小中合同研修会の実施	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を積極的に進め、その中に、ことばの力や国語力を高める視点を加え、日常の授業や家庭学習、小中一貫教育の様々な取組と関連させ、児童生徒の「主体的・協働的に学ぶ力」を高めながら、生きて働く学力や生きる力を高めるための指導の充実・向上を図る。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
地域性を生かした教育活動の展開	3小1中での児童生徒交流や1小1中での児童生徒交流、小中一貫教育の基盤となる小小連携の取組、地域・PTA(育友会)と連携し地域ぐるみで進める取組など、様々な形態を工夫しながら、小中一貫教育を総合的に推進する。

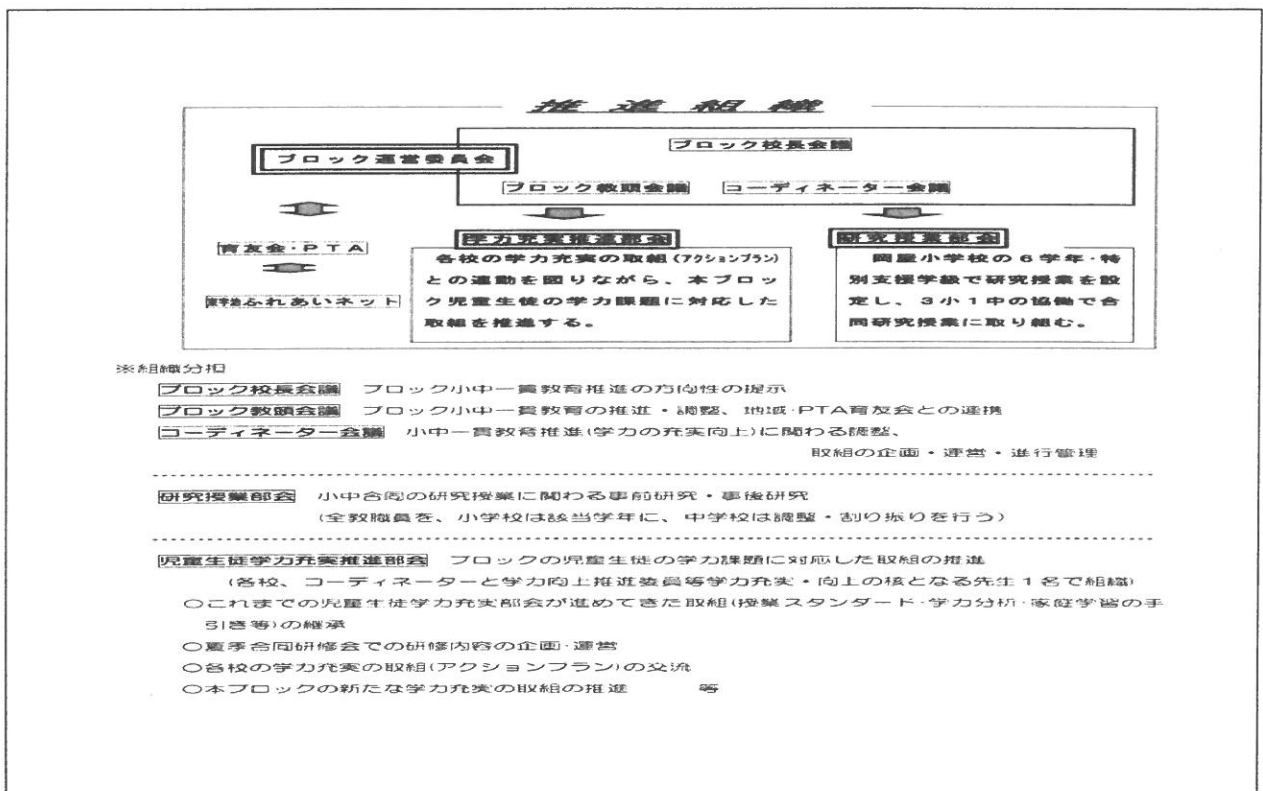
(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
小中一貫教育だより等による広報	小中一貫教育だよりを発行したり、各校の学校便り等で小中一貫教育の取組を紹介したりして、積極的に情報発信を行う。
家庭学習習慣・生活習慣の確立・充実の取組	ブロック共通の「家庭学習の手引き」を活用を進めながら、児童生徒の実態に応じた家庭学習習慣・生活習慣を高める取組を進める。

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
ブロック校長会議とコーディネーター会議を要とした取組の推進(ラーニングコーディネーターの役割)	ブロック校長会議やコーディネーター会議を定期的で開催し、小中一貫教育の方向性を全体に示しながら、具体的な取組を推進する。ラーニングコーディネーターはその調整役を果たし、ブロック児童生徒の学力充実・向上の様々な取組を推進する。
児童生徒学力充実推進部会の充実	宇治市の「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」に関わる各校の取組を交流しながら、ブロックとしての学力の充実・向上を図るための取組を展開する。

(5) 東宇治中学校ブロック組織図



(6) 小中一貫教育コーディネーター (SC)
 LC・宇治市立南部小学校 小谷 実
 SC・宇治市立東宇治中学校 清原 晃信
 宇治市立三室戸小学校 田中 健太

(LC・ラーニングコーディネーター)
 宇治市立岡屋小学校 小出 幸樹

木幡中学校ブロックジョイントプラン
 一令和2年度 小中一貫教育推進計画一

宇治市立木幡中学校	校長	永田	博嗣
宇治市立御蔵山小学校	校長	濱田	昌一
宇治市立木幡小学校	校長	田中	多賀子
宇治市立笠取小学校	校長	小槌	晶乃
宇治市立笠取第二小学校	校長	石原	和彦

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

ブロック小中一貫教育目標

故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒

めざす子ども像

- ①意欲を持ち、学び続ける児童・生徒（知）
- ②思いやりにあふれ、ともに伸びる児童・生徒（徳）
- ③健やかな心と体をもった児童・生徒（体）
- ④ちがいを認め、命を大切にす児童・生徒（人権）
- ⑤ふるさとを愛し、つながりを大切にす児童・生徒（地域）

2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

【成果】

- ・「学び合い」を大切にす授業づくりを目指して研究授業を行い、深い学びに向けて研修を深めることができた。
- ・「生徒指導」、「教育相談」、「特別支援」の3つの連絡会を一つの「児童生徒理解連絡会」にすることで、3つの方向から児童生徒の交流をすることができた。
- ・第2回小中合同研修会での後野先生の「特別支援教育の視点を大切にす生徒指導」についての講演は大変わかりやすく好評であった。

【課題】

- ・深い「学び」に結びつく授業の在り方について、まだまだこれから研修を重ねていかなければならない所がある。学力向上のために各教科部会、連絡会で何ができるのかということをも更に追及していく必要がある。
- ・夏の小中合同研修会を、「府学テの結果について」「11月研究授業の授業案作り」「特別支援教育をふまえた講演」の3本柱で行ったが、時間が足りなかった。
- ・「家庭学習の手びき」を小中でそろえて配布することができなかった。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

【目標】

- ・新学習指導要領（評価を含む）をふまえて、学力向上のための主体的、対話的な授業づくりに結びつく研修を木幡中ブロック全体で行う。
- ・3回の小中合同研修会において、各教科部会、連絡会毎に設定した課題について研修を深める

【推進の概要】

- ・ラーニングコーディネーターを中心に、「やましろ授業スタンダード」や「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を活用した、学力向上のための主体的対話的な授業づくりを木幡中ブロック全体で行う。
- ・3つの連絡会（学力充実いしずえ・児童生徒理解・健康安全）と、8つの教科部会（国語・生活,社会・算数,数学・生活,理科・図工,美術,技術,家庭,音楽・保健体育・外国語,英語・道徳）を通して、小中の系統的、継続的な指導を進める。
- ・特別支援教育の視点を生かした生徒指導の研修を継続して行う。
- ・小中一貫だよりとHPを活用し、児童生徒、保護者、教職員、地域への啓発活動を進める。

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組

(1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同研修会 ・小中連携による授業 ・ラーニングコーディネーターによる小学校訪問 ・小小連携 ・読書の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同研修会を通して小中教員が連携し、木幡中ブロックの学力向上につながる主体的で対話的な深い学びのある研究授業を行い、又児童生徒についての共通理解を図る。 ・中学校英語教員による全小学校でのTT授業を実施する。 ・ラーニングコーディネーターが小学校を訪問し、TT授業や昼食交流などの交流活動を行う ・へき地校を含んだ小小連携授業・交流学习を実施する。 ・各校の読書の取組の実践交流を行う。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の研究・研修の充実 ・児童生徒の交流事業、体験活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラーニングコーディネーターが中心となり、ジョイントプランに沿った形で、年3回の小中合同研修会を計画的に行う。(6/17、8/21、11/11) ・全教職員が、8つの教科部会(国語・生活,社会・算数,数学・生活,理科・図工,美術,技術,家庭,音楽・保健体育・外国語,英語・道徳)または3つの連絡会に所属し、研究授業や小中一貫教育を意識した取組をそれぞれの部会で設定し研修を深める。 ・夏の小中合同研修会では、小中学校で共通する課題(特別支援教育)について講演を聞き、児童生徒の学びを支援する方法の共通理解を図る。 ・小学6年生の中学校への半日体験入学(歓迎行事の取組、部活動の見学) ・中学生の部活動単位での交流(美術部による小学校作品展への展示発表など) ・児童会、生徒会の交流(小学校児童会本部役員会と中学校生徒会本部役員会が共に交流する機会を設定する。) ・三校交流による小小連携の取組(6月 木幡小、笠取小、笠取第二小)(11月 御蔵山小、笠取小、笠取第二小)

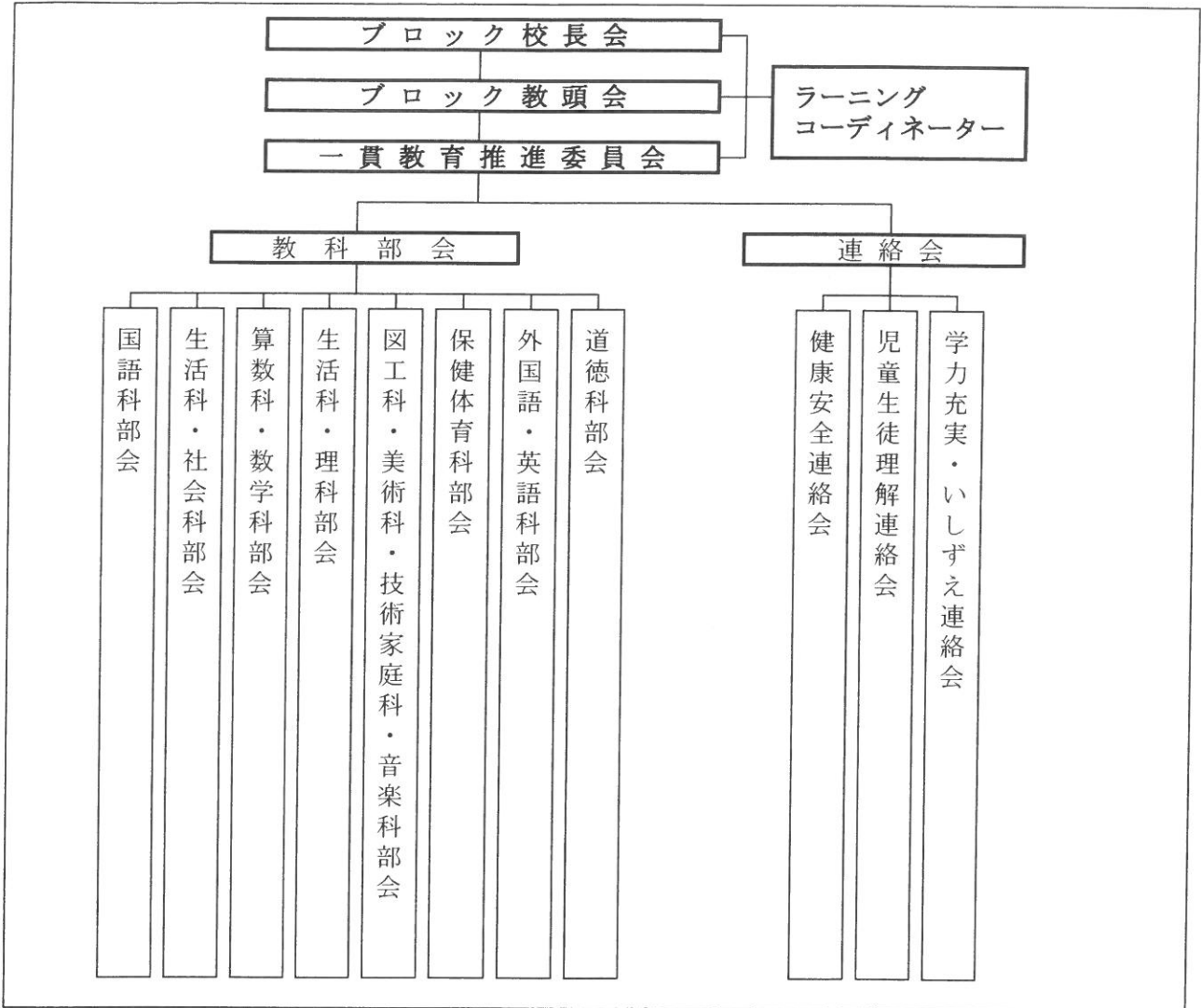
(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の活性化 ・ホームページの活用 ・学校だよりの掲示 ・保護者説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもろいやんか木幡への参加 ・ホームページに小中一貫教育の取組をアップし、取組の啓発を図る。 ・各校の学校だよりの掲示や、中学校の「生活だより」を小学校へ配布する。 ・新入生保護者説明会を11月に木幡中で行う。 ・小学校の懇談会で、中学校における進路指導の内容の説明会を行う。(2月)

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック校長会と小中一貫教育推進委員会の連携 ・コーディネーター間の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック校長会、小中一貫教育推進委員会をリンクさせ、計画的に取組を推進する。 ・8教科部会および3連絡会で連携を図り、特色のある取組の充実を図る。 ・各学校のコーディネーター間での連携を密にとり、各校の状況を共有する。

(5) 木幡中学校ブロック組織図



(6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・・ラーニングコーディネーター)

LC・・	宇治市立木幡中学校	安田	睦美
SC・・	宇治市立御蔵山小学校	大空	幸恵
	宇治市立木幡小学校	伊藤	祐治
	宇治市立笠取小学校	堀	聡志
	宇治市立笠取第二小学校	福田	健司

宇治黄檗学園ブロックジョイントプラン
—令和2年度 小中一貫教育推進計画—

宇治市立黄檗中学校・宇治市立宇治小学校
校長 市橋 公也

1 ブロック小中一貫教育目標・めざす子ども像

(1) 校訓

「たかく」 高い志を持って、学びの道を究める人
「すずしく」 さわやかな心、優しい心を持った人
「たくましく」 強い意志を持って、人生を切り拓く人

(2) 教育目標

高い志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く人間を育成する。

(3) めざす児童生徒像

高い志を持って、学びの道を究める人（質の高い学力）
さわやかな心、優しい心を持った人（豊かな人間性・社会性）
強い意志を持って、人生を切り拓く人（意欲や情熱、健康な体）

2 令和元年度取組の成果と課題（「取組内容」「子どもの態様」など）

【成果】

- ・「主体的・対話的で深い学び」を全教育活動の中で展開していくという方針のもと、職員の意識が高まり、授業改善につながりつつある。
- ・言語活動の充実を心がけ、外部講師の活用や学力充実部の積極的な取組を進めることができた。

【課題】

- ・本学園の研究主題である「多様な考えを持つ相手を理解し、自分の考えを正確に伝える児童生徒の育成」を重点取組とし、学力向上にむけてさらに取組内容を具体化、系統化し、学校全体で進める必要がある。
- ・不登校児童生徒に対する丁寧な対応には努めたが、依然減少しない傾向にある。中一ギャップは少ないものの、精神的なものや家庭に起因するケースが多く、校内での組織的な動き、外部機関との協力などを今後進めていかなければならない。

3 本年度の目標と目標に近づくための推進の方向性（核となる取組）

【目標】

9年間を通した自己実現力の育成

～主体的・対話的で深い学びによる質の高い学力の育成～

『全ての教育活動において「主体的・対話的で深い学び」を追究する』

【推進の概要】

- ・小中一貫校の特色を生かし、各ステージに応じた指導方法を工夫し、児童生徒の意欲を高め、主体的な学びと相互の学び合いを通して、学力の向上を図る。

4 令和2年度小中一貫教育の到達目標に向けての各到達目標達成にかかる具体的取組
 (1) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実

取組概要	詳細
9年間の系統的な学習指導 9年間の継続的な生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 全ての教科を通じて「主体的・対話的で深い学び」を大切にする授業を目指し授業づくりを行っていく。 9年間の継続的な生徒指導を進めるために、生徒指導部長、主任、学年主任を中心にした生徒指導を進める。課題を小中で共有化し、規範意識の確立と自尊感情を育む。

(2) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開

取組概要	詳細
小中スムーズな接続につなげるための取組 9年間を通した学園会活動	<ul style="list-style-type: none"> テストの結果を受け、小中相互の学力分析を比較し改善策を検討する。 段階的な教科担当制の授業を導入し、小中学校教員による相互連携授業を展開する。 共に学び、共に活動できる児童生徒の育成を目指して、異年齢集団活動を実施する。 学園会を組織し、主体的・実践的な活動を推進する。

(3) 家庭や地域との連携

取組概要	詳細
家庭や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 「学年だより」「きずな」「ホームページ」等を活用し、学園全体の取組を保護者や地域の方へ積極的に伝える。 学園会による地域の方々へのアンケートを実施する。 親のための進路セミナーを開催する。

(4) 中学校ブロックの推進体制と取組の充実改善

取組概要	詳細
小中一貫校の特性を生かした組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 小中で一つの組織と考え、打ち合わせ・職員会議・研修会を小中合同で行う。その中で、適切な小中一貫教育推進のために、教職員の情報交換と意思統一を確実にを行い、随時、計画や取組についての見直しを行う。 企画委員会、主任会等の会議を通して、ステージ毎の学習内容・生徒指導についての意見交換、指導方針の確認などを行う。

(5) 黄檗中学校ブロック組織図

次ページ参照

- (6) 小中一貫教育コーディネーター (SC) (LC・ラーニングコーディネーター)
- LC・・・宇治市立宇治小学校 江上 千尋
- SC・・・宇治市立黄檗中学校 酒井 康輔 宇治市立宇治小学校 江上 千尋

令和2年度 組織図・校務分掌表

宇治興業学園(宇治小学校・興業中学校)
令和2年5月25日(月)

校長	市橋
副校長	上田
教頭	澤山 彌藤
主幹	坂上
教務	江上 酒井
生指	坂上 堂本
教相	宗 永島
特支	黒木 一針
通級	高見 赤野
養教	田村 幣内
わかさ主	山上
1年主	俣野
2年主	小西
3年主	渋谷
4年主	徳永
5年主	宗
6年主	中嶋
きはだ主	森谷
7年主	山根
8年主	宮脇
9年主	福西



- 企画委員会
管理職 主幹 教務 生指 学年主任
- 前期主任会
教頭 主幹 教務 学年主任 養教
- 中後期主任会
副校長 小中教頭 主幹 小中教務 生指 学年主任 養教
- 学校安全委員会
教頭 主幹 教務 生指 養教 育友会
- 特支・教相校内委員会
(校内就学指導委員会を兼ねる)
教頭 特支C 主幹 生指 教相部長 通級 特支部長 特支担任 養教
- 学校保健会
教頭 保健主事 養教 栄養 給食 育友会 3校医
- 給食運営委員会(小)
教頭 主幹 教務 養護 育友会
- いじめ対策委員会
管理職 主幹 教務 生指 教相部長 学年主任 学年生指
- 安全衛生委員会
教頭 教職員各世代代表
- 学園体育大会実行委員会
小：実行委員長 教頭 主幹 教務 体育部
中：実行委員長 教務 生指 学年主任 特活 体育科
- 学園文化祭実行委員会
小：実行委員長 教頭 主幹 教務 図工部
中：実行委員長 教務 生指 学年主任 特活 美術科

きはだ会 ①山下 ②松田 ③谷本 ④乾 ⑤藤本 ⑥山本 ⑦小西 ⑧宮脇 ⑨岡出 ⑩高見 一針

マイカークラブ 主幹 ①～③ ④～⑥ ⑦～⑨から1名選出

教務部		小	中
教育課程	教務		教務
時間割	教務		教務 主 ⑦主 ⑧主 ⑨主
成績・通知表	教務		教務 主 ⑦主 ⑧主 ⑨主
学事	教務		教務
調査・統計・記録	教務		教務
研修計画・現職教育	教務		教務
教科書 副読本	教務		教務 主 ⑦主 ⑧主 ⑨主
証明書	教務		教務
初任者指導	教務・教員養成・初任者指導		教務・初任者指導
教育広報	教務		教務 主 ⑦副 ⑧副 ⑨副
教育広報(HP)	主幹 教頭 情報部長		教務 教頭 副校長 情報部長

研究部		A 学力充実部	B 教科部	小	中
①森本 ②松田	国語	③谷本 ④乾	○杉山 高桑 小西	○福西(中学生の主張) 三上 樋爪	
⑤宗 ⑥中嶋	社会	⑦小西 ⑧宮脇 ⑨乾	○藤本 賀数 渋谷	○田立 小西 酒井	
⑩由利 福西	算数・数学	○中嶋 由利	○宗 久米 田中 乾	○堤(少人数加配) 山根 宮脇 坂井	
小中教務 城島	理科		○辰巳 中嶋	○由利 横尾	
○中嶋 由利	生活		○山下 中井 山上 玉城		
	音楽		○上辻 西川 森本	○一針	
	図工・美術		○河田 榎村	○野瀬	
	技術・家庭科		○黒木 吉田 高見 藤本 戸田	○酒井	
	保健体育		○山本 徳永 松田	○村上 道岸(保健主事) 西野(中体連理事) 森谷	
	外国語・英語		○西田 谷本	○朝倉 永島 岡出 西村	
	道徳		○森本 辰巳 藤本	○酒井(道徳教育推進教師) 岡出 宮脇 横尾	

B 専門教育部		小	中
人権教育	○渋谷 宗 杉山		○田立 小西 三上
キャリア教育	○谷本 山下		○由利 小西 宮脇
環境教育	○松田 黒木		○山根 坂井 村上
図書館教育	○俣野 竹下 河田		○三上 村上 福西
情報教育	○乾 西川 高桑 小西 山本		○横尾 朝倉 坂井
食教育	○朗石 玉城		
健康教育	○田村 吉田 榎村 徳永		○柏木 道岸 西野 横尾
安全教育	○田村 吉田 榎村 徳永		○道岸 西野 横尾
国際理解教育	○田中 西田		○小西 宮脇 福西 由利 酒井
総合的な学習	○中嶋 上辻		○小西 宮脇 福西 由利 酒井

指導部		A 生徒指導部	A 教育相談部	A 特別支援教育部	A 特別活動部
○坂上 堂本	①俣野 ②小西 ③渋谷 ④徳永 ⑤西田 ⑥吉田 ⑦道岸 ⑧西野 ⑨小西 ⑩坂上 田村	①山下 ②玉城 ③榎村 ④辰巳 ⑤宗 ⑥杉山	⑦宮脇 ⑧永島 野瀬 ⑨西村 横尾 ⑩澤山 高見 赤野 一針	①山下 ②玉城 ③榎村 ④辰巳 ⑤黒木 ⑥杉山	⑦宮脇 ⑧永島 野瀬 ⑨西村 横尾 ⑩中井 賀数 山上 高見 一針 森谷
					①高桑 ②河田 ③田中 ④上辻 ⑤藤本 ⑥山本 ⑦村上 ⑧坂井 ⑨山根 ⑩城島 賀数
					○河田 坂井
					学級活動 小学校特活部 ⑦山根 ⑧朝倉 ⑨坂井
					学園会活動 ②河田 ④上辻 ⑦山根、三上 ⑧朝倉 ⑨坂井
					クラブ活動 小学校特活部

進路指導部		由利
部活動		
野球	酒井 西野	
バレーボール男子	堂本 山根	
バレーボール女子	朝倉 山根	
ソフトテニス男子	宮脇 由利	
ソフトテニス女子	村上 三上	
卓球	赤野 森谷 堤	
サッカー	横尾 道岸	
陸上	坂井 小西	
バドミントン	田立 岡出	
吹奏楽	一針 西川	
科学	永島	
美術	福西	

クラブ活動		宗	手芸	藤本
フットサル	榎村 久米		読書	高桑・岡本
バドミントン	河田		インドア	中嶋
ジャンピングロープ	玉城		コンピュータ	小西・谷本
ドッジボール	松田・山下		煎茶道	森本
タグラグビー	黒木		音楽	杉山
ソフトバレー	俣野・田中		イラスト	吉田
卓球	山本		科学	渋谷
陸上			英語	西田

総務部		管理	施設・設備・備品	教頭 用務
澤山 彌藤	澤山 彌藤	庶務	庶務	教頭 事務
		経理	経理	教頭 事務

渉外		地域諸団体	育友会
澤山 彌藤	青少協	主幹 中教頭 堂本	育友会本部 中教頭・小教務
	教育後援会	小教頭	渉外・庶務 江上
	安全連絡会	小教頭 主幹 堂本	校外生活班 吉田
	体育振興会	主幹 中教頭	広報部 江上
	学区福祉会	小教頭・小教務	文化部 酒井
	市就学相談	通級 賀数 一針	保健厚生部 酒井
	市小教研・中教研	教務	環境整備部 江上
	市小体連・中体連	山本 西野	選挙管理本部 中教頭
	生推協	主幹 生指	
	学体連	きはだ会	
	互助組合	教頭 事務	

